

試合番号 : 108		試合会場 : 日本製鉄堺体育館				観客数 : 345						
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:25		試合時間 : 01:25		主審 : 山本 晋五		副審 : 浜野 陽一				
堺ブレイザーズ		通算	1勝	1敗	25	第1セット	18	大分三好ヴァイセアドラー		通算	1勝	1敗
			ポイント:	3							ポイント:	3
監督コメント	昨日の悔しい敗戦から、1日で切り替えて試合に臨むことが出来たので良かったです。こちらからサーブで攻め続け、ペースを掴むことが出来たので、ゲームを優位に進めることが出来ました。長いシーズンとなりますので、ここから再スタートの気持ちで、来週からも戦っていきます。本日も熱い応援、ありがとうございます。				3	25	第1セット	18	0	監督コメント	今日は残念ながら、0-3で敗北を喫してしまいました。我々のサーブの戦術は、昨日ほど効果的ではありませんでした。また、堺ブレイザーズのクイック、バックアタックを止めることが出来ませんでした。ただ、私は我々のチームが強いという自信は依然として持ち続けています。今日の結果は、我々にとって良い経験となる事でしょう。次の試合に向けて、また万全の準備をしていきます。心地よく、温かい雰囲気を作ってくれた堺ブレイザーズのチーム、関係者、そしてファンの方々に感謝いたします。	
						25	第2セット	18				
						25	第3セット	18				
							第4セット					
							第5セット					
要約レポート												
堺ブレイザーズと大分三好ヴァイセアドラーの開幕第2戦。第1セット序盤、大分三好は井口の多彩なトス回しから繰り出される攻撃や、バグナスの連続サービスエースでリードを広げる。堺は高野やバーノンを中心に強打で攻め、終盤に追いつくと、最後は高野の3連続得点で大分三好を突き離し、第1セットを先取した。第2セット、大分三好はバグナス、エメルソンの活躍に加え、山田の強打が決まり、中盤まで一進一退の攻防を繰り広げる。堺は松本のブロックや樋口の巧みな攻撃でリズムに乗ると、最後はバーノンのブロックでセットを連取した。第3セット、堺は序盤からバーノンや高野の力強いスパイクで主導権を握る。大分三好は途中出場の高賀がスパイクやサーブで流れを掴もうとするが、堺・出東田の速攻や高野の攻守にわたる活躍に及ばず、堺がホームゲームで勝利した。												

試合番号 : 109		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 1,420						
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:53		試合時間 : 01:53		主審 : 山本 和良		副審 : 新田 浩幸				
パナソニックパンサーズ		通算	1勝	1敗	25	第1セット	18	ウルブドックス名古屋		通算	1勝	1敗
			ポイント:	4							ポイント:	2
監督コメント	昨日と同じくハイレベルなラリーでした。戦術面で変更した部分はありましたが、選手はそれによく適応してくれました。今日の勝利を誇りに思います。今週はタフな週でしたが、良い結果を出せて嬉しく思います。本日も応援ありがとうございます。				3	25	第1セット	18	1	監督コメント	今日の相手のプレーはほとんど質が高かったと思います。彼らのつなぎのプレーが我々を上回りました。昨日の激しい戦いの後に、素晴らしい立ち直りを見せたと思います。そのようなチームに立ち向かったことを誇りに思います。多くのファンのみならず、そして会場に足を運んでくださったみなさま、本当にありがとうございます。次のホームゲームでお会いできることを楽しみにしています。	
						25	第2セット	20				
						22	第3セット	25				
						25	第4セット	15				
							第5セット					
要約レポート												
2021-22シーズンのV1男子開幕戦を勝利し、2連勝して勢いに乗りたいうるぶドックス名古屋と、ホームで初勝利を掴みたいパナソニックパンサーズの戦い。第1セット、パナソニックは大竹のサービスエースなどで先にリードを奪い、その後も山内の速攻などが決まり、このセットを先取した。第2セットは、序盤から一進一退の攻防が続いた。パナソニックは、セカンドタイムアウトを挟んで連続得点しリードを奪うと、終盤はクビアクがファンを驚かせるトリッキーなプレーやサービスエースで得点を重ね、セットを連取した。第3セット、後がなくなったWD名古屋はセッター前田を投入し、巻き返しを図る。序盤からリードを奪ったWD名古屋がパナソニックの反撃を振り切り、このセットを奪う。第4セットはホームの大応援を背に、パナソニックが有利な展開で試合が進む。最後はクビアクがダイレクトアタックを決め、ホームで初勝利を収めた。												

試合番号 : 110		試合会場 : スカイアリーナ (第一総合運動場)				観客数 : 610						
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:46		試合時間 : 02:46		主審 : 西中野 健		副審 : 岡田 崇				
サントリーサンパーズ		通算	2勝	0敗	23	第1セット	25	FC東京		通算	0勝	2敗
			ポイント:	4							ポイント:	2
監督コメント	2日間スカイアリーナでのホームゲーム、たくさんのご声援有難うございました。FC東京の緻密なラリーボールに本当に苦しめられましたが、2セットを取られた状態から選手たちは下を向くことなく、刺激あいながら戦ってくれました。サンパーズは今季もどんな状況であろうとあきらめず、しつこくへこたれず戦っていきます。ホームゲーム開催にあたり、ご協力いただいた関係者のみなさま、熱い応援をかけてくださったファンのみならず有難うございました。これからも PLAY HARD ~ Over The Top ~ を実践していきます。				3	23	第1セット	25	2	監督コメント	2日間、熱い応援をいただき有難うございました。昨日、今日と接戦を勝ち切ることができませんでした。サントリーサンパーズは素晴らしいプレーをされていました。我々は改善すべき点がありますので、課題を明らかにして今後の練習のなかでしっかりと強化していきます。来週のジェイテクトSTINGS戦に向け、万全の準備をして必ず勝ち星をつかみ取り、ファンの皆さまに勝利をプレゼントしたいと思います。	
						23	第2セット	25				
						25	第3セット	20				
						29	第4セット	27				
						15	第5セット	12				
要約レポート												
サントリーサンパーズとFC東京の対戦は、開幕から2日連続でフルセットの激闘となった。第1セット、第2セットはFC東京が効果的なサーブで終始優位に試合を進める。クヴァーレン、エスペホの高さのある攻撃を中心に得点を重ね、セットを連取する。後がないサントリーは第3セット、持ち前の攻撃力で反撃に出る。藤中が難しいトスを何本も決めてチームを勢いづけると、最後はリリーフサーバー佐藤のサービスエースでこのセットを奪う。第4セットはデュースにもつれ込み、手に汗握る展開となった。サントリーは柳田がスパイクを決めれば、FC東京は長友がバックアタックで応戦し、互いに譲らない気迫のこもったラリーが続いた。最後は地元応援を受けたサントリーが取り切り、最終セットに望みを繋ぐ。第5セットは序盤から両者強気のプレーで会場を盛り上げる。FC東京は連続ブロックや長友のスパイクで勢いを見せるも、対するサントリーはキャプテン大宅の気迫のこもったサーブで得点に繋げ、アライメントも要所で強烈なスパイクを決めると、最後は全員でつないだボールを柳田が渾身のスパイクで得点し、昨シーズン覇者の意地を見せる大逆転勝利を収めた。												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	-勝	-敗		第1セット				通算	-勝	-敗
			ポイント:	-							ポイント:	-
監督コメント						第2セット				監督コメント		
						第3セット						
						第4セット						
						第5セット						
要約レポート												